



2022年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
 コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 榊田 裕之 TEL 03-5977-3377
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第1四半期の連結業績（2021年7月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第1四半期	11,847	142.1	4,740	385.9	4,730	405.8	2,941	404.3
2021年6月期第1四半期	4,893	15.5	975	29.3	935	21.8	583	11.2

(注1) 包括利益2022年6月期第1四半期 2,950百万円 (409.8%) 2021年6月期第1四半期 578百万円 (8.9%)

(注2) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年6月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第1四半期	422.22	420.16
2021年6月期第1四半期	98.06	97.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第1四半期	58,392	30,402	51.6
2021年6月期	55,690	28,497	50.7

(参考) 自己資本 2022年6月期第1四半期 30,134百万円 2021年6月期 28,226百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年6月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	0.00	—	150.00	150.00
2022年6月期	—	—	—	—	—
2022年6月期(予想)	—	0.00	—	150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,300	25.0	11,800	12.9	11,600	9.9	7,800	13.2	1,119.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「1. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年6月期1Q	7,265,212株	2021年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2022年6月期1Q	297,726株	2021年6月期	297,726株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年6月期1Q	6,967,486株	2021年6月期1Q	5,948,388株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症のかつてない感染拡大があったものの、感染拡大防止策の徹底やワクチン接種の広がりもあり、10月からの緊急事態宣言解除が決定されたことから、今後の経済対策の実施による景気回復が期待されます。一方で、半導体供給不足によるサプライチェーンへの影響や、金融資本市場の変動等への注視も必要な状況となっております。

このような経済環境の中、当社が関連する情報通信市場、半導体市場、エレクトロニクス市場は、引続き堅調に推移いたしました。

なお、前期後半に急騰した一部の貴金属価格は、なだらかに低下しているものの依然高い水準が続いており、当期の売上、利益に影響しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高11,847百万円（前年同四半期比142.1%増）、売上総利益5,458百万円（前年同四半期比247.4%増）、営業利益4,740百万円（前年同四半期比385.9%増）、経常利益4,730百万円（前年同四半期比405.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,941百万円（前年同四半期比404.3%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、報告セグメントの名称を「センサー」から「サーマル」に変更しております。

①セグメント別の業績

[電子]

スマートフォンなどのSAWデバイス（必要な周波数信号を取り出すデバイス）や医療用シンチレーター（放射線に当たると、蛍光を発生する物質）に使用される単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注、並びにガラス溶解装置向けプラチナ製品の受注が堅調に推移したことから、売上高1,223百万円（前年同四半期比7.9%増）、売上総利益344百万円（前年同四半期比28.8%増）となりました。

[薄膜]

銀合金ターゲットの受注が低調に推移したものの、クラウドサービスの需要拡大に伴い、データセンター用に使用されるHD向けルテニウムターゲットの受注が堅調に推移し、売上高2,995百万円（前年同四半期比64.4%増）、売上総利益1,586百万円（前年同四半期比140.7%増）となりました。

[サーマル]

半導体業界の活況を受け、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーからの受注が好調に推移しました。旺盛な需要に対応するため増産体制を整えると共に、高付加価値品の取込みを増やしたことで、売上高1,334百万円（前年同四半期比87.9%増）、売上総利益427百万円（前年同四半期比44.1%増）となりました。

[ケミカル]

昨年実施した設備投資により精製・回収（リサイクル）や化学プラント向け触媒の受注が好調に推移しました。有機EL向け化合物、電極向け貴金属化合物も好調に推移したことから、売上高5,754百万円（前年同四半期比377.9%増）、売上総利益2,759百万円（前年同四半期比714.3%増）となりました。

[その他]

当社製品の受注に紐付かない貴金属原材料の受注があったことにより、売上高538百万円（前年同期は売上高22百万円）、売上総利益341百万円（前年同期は売上総利益9百万円）となりました。

②海外売上

当第1四半期連結累計期間における海外売上高は6,993百万円（総売上高に占める割合は59.0%）となりました。地域別には欧州向け売上高2,998百万円（海外売上高に占める割合は42.9%）、アジア向け売上高2,827百万円（海外売上高に占める割合は40.4%）、北米向け売上高1,167百万円（海外売上高に占める割合は16.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は58,392百万円（前連結会計年度末比2,702百万円の増加）、負債は27,990百万円（前連結会計年度末比797百万円の増加）、純資産は30,402百万円（前連結会計年度末比1,904百万円の増加）となりました。

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は44,830百万円となり、前連結会計年度末比2,776百万円増加いたしました。これは現金及び預金が613百万円、受取手形及び売掛金が394百万円、未収消費税等が371百万円それぞれ減少いたしました。棚卸資産が4,037百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は13,562百万円となり、前連結会計年度末比73百万円減少いたしました。これは繰延税金資産が80百万円減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は21,783百万円となり、前連結会計年度末比1,336百万円増加いたしました。これは買掛金が806百万円、未払法人税等が2,045百万円、賞与引当金が208百万円それぞれ減少いたしました。短期借入金が4,500百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債残高は6,206百万円となり、前連結会計年度末比538百万円減少いたしました。これは長期借入金が522百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は30,402百万円となり、前連結会計年度末比1,904百万円増加いたしました。これは利益剰余金が1,896百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年8月6日付「2021年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,264	3,651
受取手形及び売掛金	5,477	5,082
商品及び製品	1,753	1,524
仕掛品	3,643	3,655
原材料及び貯蔵品	24,237	28,491
未収消費税等	2,559	2,187
その他	118	236
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	42,054	44,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,528	3,501
機械装置及び運搬具 (純額)	5,166	5,153
土地	1,727	1,727
リース資産 (純額)	90	83
建設仮勘定	1,471	1,496
その他 (純額)	77	90
有形固定資産合計	12,062	12,053
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	148	158
その他	66	72
無形固定資産合計	215	230
投資その他の資産		
投資有価証券	20	20
繰延税金資産	1,167	1,086
その他	171	172
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,357	1,277
固定資産合計	13,635	13,562
資産合計	55,690	58,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,075	5,269
未払金	1,823	1,690
短期借入金	5,700	10,200
1年内返済予定の長期借入金	2,184	2,139
未払法人税等	3,850	1,804
賞与引当金	369	161
役員賞与引当金	116	—
設備関係未払金	76	115
その他	251	402
流動負債合計	20,447	21,783
固定負債		
長期借入金	5,518	4,996
退職給付に係る負債	731	720
資産除去債務	26	26
その他	469	463
固定負債合計	6,745	6,206
負債合計	27,192	27,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	7,030	7,030
利益剰余金	17,172	19,068
自己株式	△1,412	△1,412
株主資本合計	28,236	30,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	△1	△2
退職給付に係る調整累計額	△11	0
その他の包括利益累計額合計	△9	2
新株予約権	92	92
非支配株主持分	179	175
純資産合計	28,497	30,402
負債純資産合計	55,690	58,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
売上高	4,893	11,847
売上原価	3,321	6,388
売上総利益	1,571	5,458
販売費及び一般管理費	595	718
営業利益	975	4,740
営業外収益		
受取家賃	4	3
デリバティブ評価益	0	44
その他	0	2
営業外収益合計	5	50
営業外費用		
支払利息	13	16
為替差損	24	42
その他	7	1
営業外費用合計	45	60
経常利益	935	4,730
特別損失		
投資有価証券評価損	8	—
特別損失合計	8	—
税金等調整前四半期純利益	926	4,730
法人税、住民税及び事業税	301	1,716
法人税等調整額	43	75
法人税等合計	345	1,792
四半期純利益	580	2,938
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	583	2,941

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	580	2,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
為替換算調整勘定	△3	△0
退職給付に係る調整額	—	12
その他の包括利益合計	△2	11
四半期包括利益	578	2,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	581	2,953
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、当社は、従来は国内販売においては主に出荷時に、輸出販売においては主に輸出通関時に収益を認識しておりましたが、国内販売においては主に顧客により製品が検収された時又は顧客に製品が到着した時に、輸出販売においては主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。

この結果、売上高が2百万円減少し、売上原価が0百万円減少し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ1百万円減少しております。

なお、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、期首の利益剰余金に与える影響はありません。また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

(棚卸資産と固定資産間の振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直しし、保有目的の変更により、棚卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当第1四半期連結累計期間においては、保有する貴金属資産の利用実態を確認した結果、振替は不要と判断しております。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)
商品及び製品	—	△75	—
原材料及び貯蔵品	—	△218	—
仕掛品	—	△547	—
機械装置及び運搬具	—	293	—
建設仮勘定	—	547	—

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,134	1,822	710	1,204	4,870	22	4,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,134	1,822	710	1,204	4,870	22	4,893
セグメント利益	267	659	296	338	1,562	9	1,571

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
日本	1,012	658	848	2,200	4,721	132	4,853
アジア(日本以外)	25	2,046	402	35	2,509	317	2,827
欧州	1	162	29	2,716	2,910	88	2,998
北米	183	128	53	802	1,167	—	1,167
顧客との契約から生じる収益	1,223	2,995	1,334	5,754	11,308	538	11,847
外部顧客への売上高	1,223	2,995	1,334	5,754	11,308	538	11,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,223	2,995	1,334	5,754	11,308	538	11,847
セグメント利益	344	1,586	427	2,759	5,117	341	5,458

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品に紐付かない貴金属原材料の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、報告セグメントの名称を「センサー」から「サーマル」に変更しております。

当該変更はセグメント名称のみの変更であるため、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、報告セグメントの名称変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。